

沈水植物マット



<http://www.especmic.co.jp>

沈水植物マット



1, 2. 千葉県 親水水路

コンクリート三面張りの水路に沈水植物群落を創出した事例です。合成樹脂基盤の沈水植物マット（セキショウモ）を設置し、現地発生土を客土しました。

3, 4. 愛知県 光音寺公園

生分解基盤の沈水植物マット（ササバモ）を設置しました。設置は3月に実施されましたが⁴⁾、8月時点では良好な群落が形成されていることが確認できました³⁾。

5, 6. 長野県 諏訪湖

生分解基盤の沈水植物マットによりコウホネ⁵⁾、とアサザ⁶⁾を植栽しました。諏訪湖は波浪が強い湖沼ですが、沈水植物マットを止め杭などを使って固定したことにより、いずれの植物も良好に定着させることができました。

【合成樹脂基盤】



特殊な合成樹脂基盤に沈水植物が植栽、育成されたマットです。基盤が分解されないため、コンクリート三面張り水路やその他の構造物に固定することができるです。

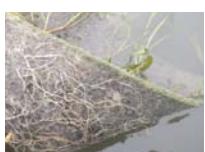


沈水植物の根や地下茎が合成樹脂基盤と絡んでいるため、波浪や流水などにより沈水植物が流出しにくい構造となっています。

【生分解基盤】



生分解基盤の沈水植物マットは生分解性基盤に植栽された沈水植物の苗とヤシ繊維の袋の組み合わせによって構成されています。沈水植物が取り付けられたヤシ繊維の袋に現地発生土を充填することで、波浪や流れのある河川や湖沼環境において容易に沈水植物の植栽ができるようになりました。



生分解性基盤に植栽された沈水植物の根は生分解性基盤と絡み合っているため、取り扱いが容易で、植物が生分解性基盤から脱落しにくい構造となっています。



ヤシ繊維の袋には生分解性の内袋が格納されており、沈水植物の苗と現地発生土を充填する場所が分かれています。そのため、沈水植物を痛めずに現地発生土を充填することができます。

【現地の植物に対応します】



その地域に生育している沈水植物の移動を最小限にするため、沈水植物の植栽にあたっては可能な限りその地域に生育する植物を利用するとしています。現地に植物が多く生育している場合には、現場でマットに苗を植栽して、そのまま現場に設置することも可能です。しばらく育成させた苗よりも定着率は低くなる可能性はありますが、植栽時の苗の流出を抑制する上では沈水植物マットの使用は効果的です。一方、生育数が少ない場合には、ある一定期間育成して増やしてから現地に戻すこともできます。

【仕様】

型式	合成樹脂基盤沈水植物マット	生分解基盤沈水植物マット
寸法	厚 3cm ※ サイズは用途に応じて対応	ヤシ繊維の袋: 幅40cm×長60cm(内袋付) 植物ユニット: 幅25cm×長25cm×厚5mm
材質	ポリエステル	ヤシ繊維の袋: ヤシ繊維(外袋), 麻(内袋) 植物ユニット: ウール
適用可能な植物	適用可能な植物は合成樹脂基盤沈水植物マット、生分解基盤沈水植物マットとともに、沈水植物、浮葉植物、抽水植物に適用することができます(セキショウモ、ササバモ、エビモ、アザザ、コウホネなど)。しかし、根が貧弱な種(タヌキモ類、マツモなど)への適用はできません。	

エスペックミック株式会社

<http://www.especmic.co.jp>

本 社 480-0138 愛知県丹羽郡大口町大御堂 1-233-1
名古屋オフィス TEL:0587-95-6369 FAX:0587-95-4833

東京オフィス 103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 1-13-7
TEL:03-5643-0305 FAX:03-5643-0307

大阪オフィス 572-0039 大阪府寝屋川市池田 3-11-17
TEL:072-801-7805 FAX:072-801-7806

福岡出張所 812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田 1-28-16
コスモプレインビル E 室
TEL:092-471-0932 FAX:092-474-3500

- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

- このカタログの記載内容は 2013年 7月現在のものです。